

∥ 長期休業時の収入減少に備える保険です! ∥

長期休業サポート

団体長期障害所得補償保険

この保険は全国役職員共済会が保険契約者となる団体契約です。

保険期間
(1年間)

2026年10月1日午後4時(保険始期日)
～2027年10月1日午後4時

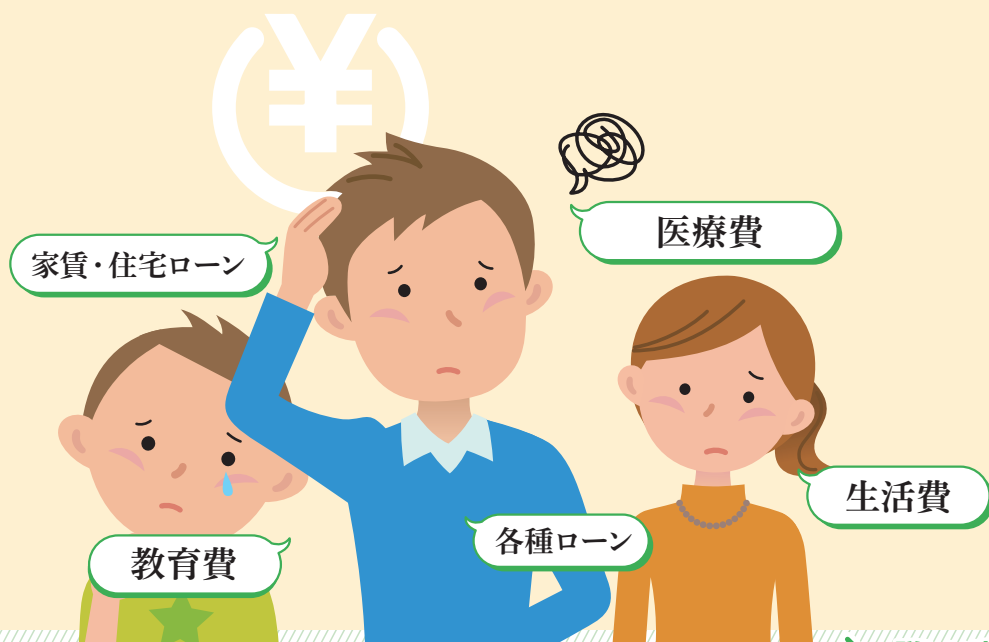
団体割引等

28% 適用

(団体割引20%、
経験損害率による割引10%)

病気・ケガで

収入がストップしたらどうしよう…



詳しい事例などは中面へ

全国役職員共済会

あなたの備えは
いかがですか？



病気やケガで長期 収入がストップ

＼万が一の！

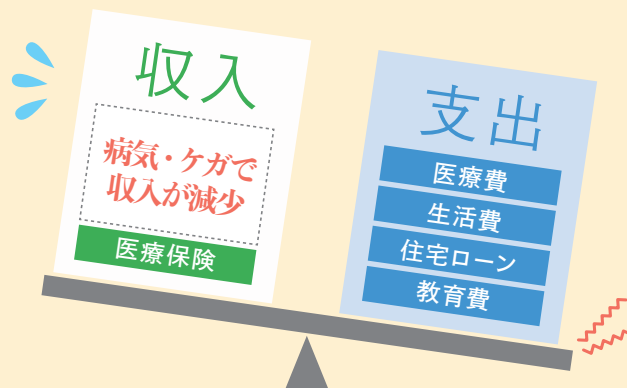
✓ ケガ

交通事故に遭い、
長期間自宅療養する
として..



✓ 病気

脳卒中になり、
長期間入院する
として..



これまでの支出に加え、
病気やケガによる医療費もかさみます。



食費



住宅ローン



医療費



光熱費



教育費



両親の介護費



家族を支える

保険金のお支払例

下記お支払例はあくまでも一例です。

39才男性

タイプBに3口加入（支払基礎所得額15万円）の場合

保険期間中に被った脳内出血（身体障害）により就業障害が免責期間終了日の翌日から起算して3年間継続した場合（毎月の所得が0円の場合）

15万円×36か月（3年間）

540万円

43才男性

タイプBに4口加入（支払基礎所得額20万円）の場合

保険期間中に被った統合失調症による精神障害により就業障害が免責期間終了日の翌日から起算して24か月継続した場合（毎月の所得が0円の場合）

20万円×24か月（2年間）

480万円

（ご注意）精神障害による就業障害は精神障害補償特約のセットにより補償されますが、基本契約のてん補期間にかかわらず、免責期間終了日の翌日から起算して24か月（2年間）が限度となります。

間働けなくなってしまうとき、 しても支出は止まりません。

長期休業サポートとは

病気やケガで働けなくなり収入が減ってしまった場合に
備える保険です。

(就業不能による休業期間が、コースごとの免責期間を超える場合。)

補償金額は1口5万円(月)×加入口数)

※免責期間やてん補期間はコースごとに異なります。P4、5を参照ください。



本制度の特徴

- 1 割引率28%の
お得な保険料!



- 3 退職するしないに限らず
所定の条件を満たしている場合に
保険金をお支払いします!

- 5 保険金は全額非課税!

※この取扱いとは2026年5月現在のものであり、
今後の税制改正によって変わることが
あります。



- 7 生活サポートサービスが
無料で利用可能!

※詳細は裏表紙をご確認ください。

- 2 職場復帰後も
就業障害に該当すれば
継続補償!



- 4 天災(地震、噴火またはこれらによる津波)
によるケガや病気、所定の
精神障害、妊娠に伴う
身体障害を原因とする
休業も補償!

- 6 親介護一時金支払特約をセット
することで、親の介護にかかる
費用に備えることができます。

※被保険者の実父母、姻族の父母のうち最大2名を
指定することができます。

48才女性

タイプCに2口加入(支払基礎所得額10万円)の場合

保険期間中に被った交通事故により就業障害が免責
期間終了日の翌日から起算して1年間継続した場合
(毎月の所得が0円の場合)

10万円×12か月(1年間)

120万円

52才女性

タイプDに2口加入(支払基礎所得額10万円)の場合

保険期間中に被った骨髄性白血病により就業障害が
免責期間終了日の翌日から起算して3年間継続した場合
(毎月の所得が0円の場合)

10万円×36か月(3年間)

360万円

加入タイプと口数を選びましょう！

基本タイプ・保険料について



加入タイプと口数の選び方

①右(5ページ)の「タイプ一覧」の免責期間※(545日/180日/60日)とてん補期間※(60才まで/3年間)をご確認いただき、タイプA～Fよりご希望のタイプをご選択ください。

※「免責期間」と「てん補期間」については、5ページ上の説明をご確認ください。

②ご加入タイプとご自身の平均月間所得額から、加入できる口数の上限額を確認します。

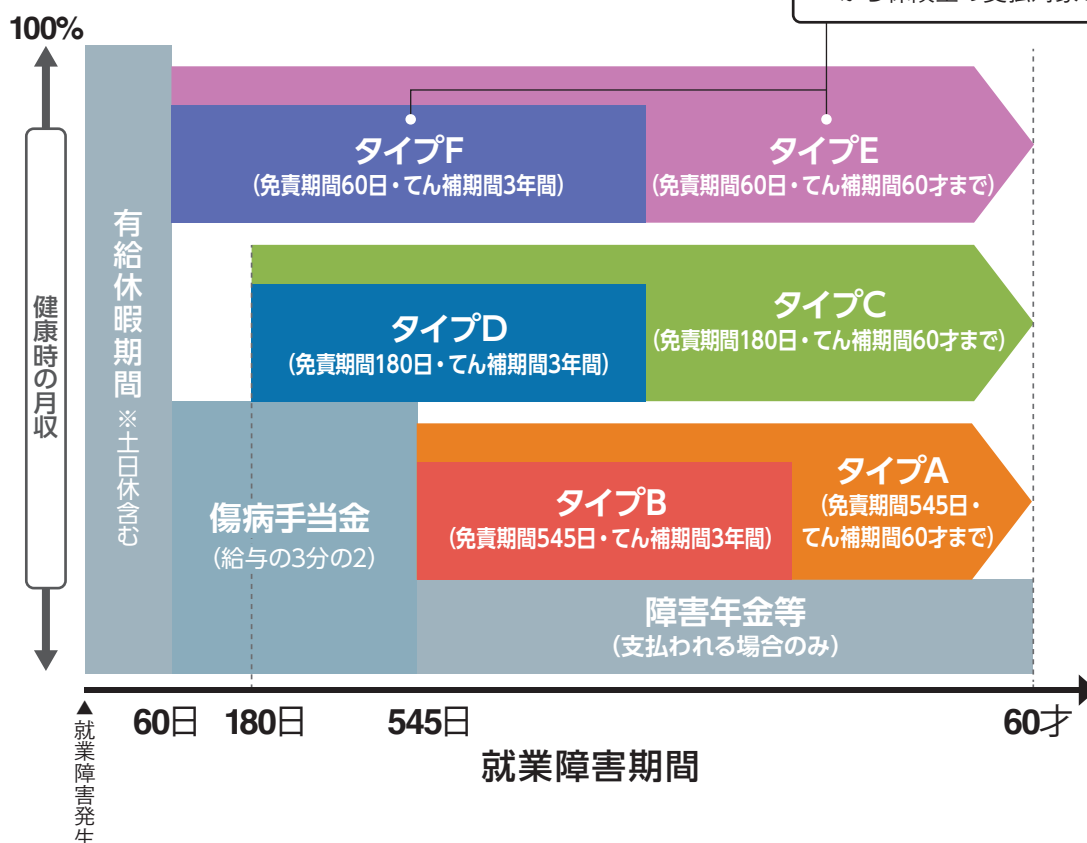
タイプA・B→加入口数は平均月間所得額(ボーナスを含みます。)の60%以内かつ100万円(20口)以内でお申込みください。
タイプC・D・E・F→加入口数は平均月間所得額(ボーナスを含みます。)の1/3以内かつ100万円(20口)以内でお申込みください。

③加入できる口数の範囲で、加入口数をお決めください。(1口あたり5万円/月の補償)

【新規加入・増口・免責期間の短いタイプに変更の場合】

加入申込票の健康状況告知書質問事項をご覧ください、「はい」に該当する場合は、お引受けができません。

：各タイプのでん補期間イメージ



※すべてのタイプに天災危険補償特約、精神障害補償特約、妊娠に伴う身体障害補償特約(女性の方のみ)がセットされています。

▶保険料の加入例

39才 男性が2口

タイプA に(支払基礎所得額10万円)加入の場合

446円×2口=892円

加入口数は平均月間所得額(ボーナスを含みます。)の60%以内かつ100万円(20口)以内でお申込みください。

39才 男性が2口

タイプC に(支払基礎所得額10万円)加入の場合

521円×2口=1,042円

加入口数は平均月間所得額(ボーナスを含みます。)の1/3以内かつ100万円(20口)以内でお申込みください。

■タイプ選択時にご確認いただきたいこと

> 免責期間

就業障害開始から起算して、継続して就業障害であるあらかじめ引受保険会社と協定した期間をいいます。この期間は保険金支払いの対象となりません。

> てん補期間

てん補期間とは保険金をお支払いできる期間です。

事前に引受保険会社と協定した期間(3年もしくは60才に達した日^(※)までとします。なお、精神障害による就業障害の場合は基本契約のてん補期間にかかわらず保険金のお支払いは24か月限度となります。))をいい、免責期間終了日の翌日から起算します。この期間内で就業障害である期間が保険金支払いの対象となります。

(※)60才に達した日とは、60才の誕生日の前日をいいます。

免責期間の終了日の翌日から60才に達する誕生日の前日までの期間が3年に満たない被保険者については、てん補期間を3年とします。

タイプ一覧

1口あたりの保険料

1口あたり(5万円/月の補償)月払保険料

タイプA・B→加入口数は平均月間所得額(ボーナスを含みます。)の60%以内かつ100万円(20口)以内でお申込みください。

タイプC・D・E・F→加入口数は平均月間所得額(ボーナスを含みます。)の1/3以内かつ100万円(20口)以内でお申込みください。

免責期間545日				
	タイプA (60才に達した日まで補償)		タイプB (3年間補償)	
年齢	男性	女性	男性	女性
20-24才	292円	201円	89円	57円
25-29才	309円	261円	100円	76円
30-34才	360円	356円	141円	119円
35-39才	446円	504円	187円	172円
40-44才	615円	746円	263円	262円
45-49才	803円	959円	383円	398円
50-54才	894円	996円	594円	628円
55-59才	946円	949円	946円	949円
60-64才	—	—	1,538円	1,428円

免責期間180日				
	タイプC (60才に達した日まで補償)		タイプD (3年間補償)	
年齢	男性	女性	男性	女性
20-24才	331円	236円	118円	90円
25-29才	349円	319円	130円	127円
30-34才	420円	430円	188円	181円
35-39才	521円	597円	246円	250円
40-44才	721円	847円	340円	327円
45-49才	951円	1,102円	475円	471円
50-54才	1,122円	1,227円	701円	715円
55-59才	1,068円	1,049円	1,068円	1,049円
60-64才	—	—	1,656円	1,524円

●保険料表の年齢区分は5才きざみになっており、保険始期日時時点の満年齢(中途加入の場合も、保険始期日時時点の満年齢)による保険料が適用されます。

●各タイプは、保険料の記載がある年齢区分以外の方のご加入はできません。

免責期間60日				
	タイプE (60才に達した日まで補償)		タイプF (3年間補償)	
年齢	男性	女性	男性	女性
20-24才	508円	376円	208円	172円
25-29才	562円	531円	231円	255円
30-34才	691円	719円	316円	344円
35-39才	870円	1,007円	411円	472円
40-44才	1,152円	1,297円	549円	536円
45-49才	1,483円	1,642円	750円	737円
50-54才	1,573円	1,646円	989円	976円
55-59才	1,395円	1,325円	1,395円	1,325円
60-64才	—	—	2,105円	1,899円

▶簡単お見積もり

$$\boxed{} \text{円} \times \boxed{} \text{口} = \boxed{} \text{円}$$

(一口あたりの保険料)

※前年度ご加入いただいた被保険者の人数等に従って割増率が適用されます。

※所属する生協の健康保険に本人加入しているパートタイマー・嘱託職員の方も加入できます。

※就業障害の原因が精神障害の場合、基本契約のてん補期間にかかわらず、保険金のお支払いは24か月(2年間)が限度となります。

同時に異なるタイプに加入することはできません。



仕事と介護を両立させるために もしも親の介護が必要になったら…そんな時に備えて 親介護オプションがおすすめです！

※親介護オプションの補償内容の詳細につきましては、11ページをご覧ください。



親の介護は突然にやってきます！

長期休業サポートには、親の介護に直面した時に備えて、
一時的に必要な費用を補償する親介護オプションをセットすることができます。

補償の概要

親介護補償（親介護一時金支払特約）

この特約の被保険者（親）が次の要介護状態になり90日を超えて継続した場合、介護一時金をお支払いします。

- ・公的介護保険制度に基づく要介護2以上の認定を受けた状態（要介護3以上から要介護2以上への補償範囲拡大に関する特約（介護一時金支払特約用）がセットされています。）
- ・上記以外で特約記載の所定の状態

月払保険料

＜条件＞ 介護一時金額：100万円（特約被保険者1名あたり）

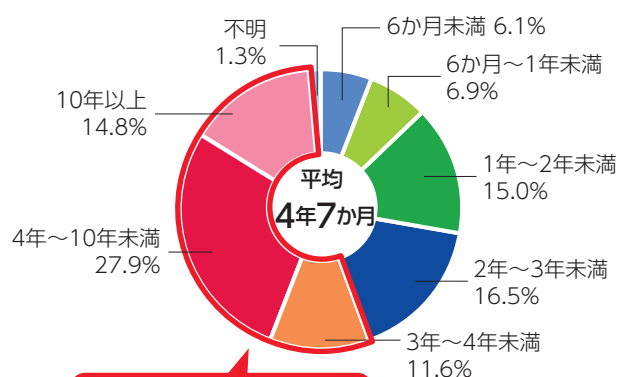
親が所定の要介護状態となりフランチイズ期間90日を超えて継続した場合

K セ ッ ト	親（特約被保険者）の 年令	親介護一時金部分の月払保険料 （特約被保険者1名あたり）	親（特約被保険者）の 年令	親介護一時金部分の月払保険料 （特約被保険者1名あたり）
	20～24才	10円	55～59才	70円
	25～29才	10円	60～64才	160円
	30～34才	10円	65～69才	390円
	35～39才	10円	70～74才	870円
	40～44才	10円	75～79才	1,930円
	45～49才	10円	80～84才	4,890円
	50～54才	30円	85～89才	10,000円

- 親の年令は保険始期日時点での満年令となります。
- この特約の被保険者としてご加入いただける方は、基本補償部分の被保険者の親（姻族を含みます。）のうち、始期日時点における年令が満20才から満89才までの方となります。
- この特約の被保険者は、基本補償部分の被保険者の親（姻族を含みます。）で、最大2名まで加入できます。ただし、「健康状況告知書質問事項」に該当する場合は、ご加入のお引受けはできません。

身近になってきた親の介護と介護開始に伴う費用

▶介護期間の割合



3年以上が約5割を
占めます

▶介護にかかる費用

一時的にかかる費用
（介護用ベッドの購入など） 平均 **47 万円**

毎月かかる費用 平均 **9.0 万円**

例えば
（一時費用） 47万円 + （月々の費用） 9.0万円 × 4年7か月
= **542万円**

公益財団法人生命保険文化センター
「2024（令和6）年度生命保険に関する全国実態調査」
から作成

重要事項のご説明

契約概要のご説明（団体長期障害所得補償保険）

- ご加入に際して特にご確認いただきたい事項をこの「契約概要」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
- 申込人と被保険者（補償の対象者）が異なる場合は、被保険者の方にもこの書面の内容を必ずお伝えください。
- この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約および保険契約者と引受保険会社との間で締結する「協定事項明細書（協定書）」（以下協定書といいます）等によって定まります。ご不明な点については代理店・扱者または引受保険会社までお問合わせください。
- 契約取扱者が代理店または社員の場合は、引受保険会社の保険契約の締結権を有し、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の発行・ご契約の管理などの業務を行っています。したがって、代理店または社員と契約され有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

1. 商品の仕組みおよび引受条件等

(1) 商品の仕組み

この保険は、被保険者（補償の対象者）がケガまたは病気により就業障害となられた場合に被保険者が被った損害に対して保険金をお支払いします。なお、被保険者としてご加入いただける方および被保険者の範囲は次のとおりです。

①	被保険者としてご加入いただける方	働いて収入（所得）を得ている方で、事前に保険契約者と協定した範囲の方のうち、始期日時点における年齢が満20才から満64才までの方
	被保険者の範囲	加入申込票の被保険者欄に記載の方
②	親介護一時金支払特約の被保険者としてご加入いただける方	上記①の被保険者またはその配偶者の親のうち、始期日時点における年齢が満20才から満89才までの方
	親介護一時金支払特約の被保険者の範囲	この特約の被保険者として加入申込票の特約被保険者欄に記入された方

(2) 補償内容

保険金をお支払いする場合、および保険金をお支払いしない主な場合は、本パンフレットのとおりのとおりです。詳細は普通保険約款・特約および保険契約者と引受保険会社との間で締結する協定書に基づきます。

- ①保険金をお支払いする場合（支払事由）とお支払いする保険金の額
本パンフレットをご参照ください。
- ②保険金をお支払いしない主な場合（主な免責事由）
本パンフレットをご参照ください。なお、詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目に記載されております。

(3) セットできる主な特約およびその概要

本パンフレットをご参照ください。特約の内容の詳細は普通保険約款・特約および保険契約者と引受保険会社との間で締結する協定書に基づきます。

(4) 保険期間

この保険の保険期間は、1年間です。お客さまが実際にご加入いただく保険期間については、加入申込票の保険期間欄にてご確認ください。

(5) 引受条件

ご加入いただく支払基礎所得額および保険金額の設定につきましては、次

の点にご注意ください。お客さまが実際にご加入いただく支払基礎所得額および保険金額につきましては、本パンフレットの保険金額欄および加入申込票等にてご確認ください。

- ①この保険の支払基礎所得額は、被保険者の加入する公的医療保険制度（健康保険法等の法律に基づく保険制度をいいます）による給付内容を勘案し、次のとおり設定してください。なお、支払基礎所得額に約定給付率を乗じた額が平均月間所得額を超える場合には、その上回る部分については保険金をお支払いできませんのでご注意ください。公的医療制度の概要につきましては、金融庁のホームページ（<https://www.fsa.go.jp/ordinary/insurance-portal.html>）等をご確認ください。
・平均月間所得額の1/3^(*)以内の一定額で設定してください。
(*)公的医療保険制度において傷病手当金の支給対象となる被保険者（給与所得者）については、免責期間が1年6か月以上の場合は、60%とします。
- ②親介護一時金支払特約の保険金額は引受けの限度額があります。

2. 保険料

保険料は支払基礎所得額・保険金額・年齢・性別・免責期間・てん補期間等によって決定されます。お客さまが実際にお払いいただく保険料につきましては、加入申込票の保険料欄にてご確認ください。

3. 保険料の払込方法について

保険料は「月払」です。2026年11月より毎月の給与より天引きとなります。

4. 満期返れい金・契約者配当金

この保険には満期返れい金・契約者配当金はありません。

5. 解約返れい金の有無

ご加入の脱退（解約）に際しては、ご加入時の条件により、保険期間のうち未経過であった期間の保険料を解約返れい金として返還します。始期日から解約日まで期間に応じて払込みしていただくべき保険料のお払込状況により追加のご請求をさせていただく場合があります。「注意喚起情報のご説明」の「7. 解約と解約返れい金」をご参照ください。

注意喚起情報のご説明（団体長期障害所得補償保険）

- ご加入に際して被保険者にとって不利益になる事項等、特にご注意いただきたい事項をこの「注意喚起情報」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
- 申込人と被保険者（補償の対象者）が異なる場合は、被保険者の方にもこの書面の内容を必ずお伝えください。
- この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約および保険契約者と引受保険会社との間で締結する協定書等によって定まります。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問合わせください。
- 契約取扱者が代理店または社員の場合は、引受保険会社の保険契約の締結権を有し、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の発行・ご契約の管理などの業務を行っています。したがって、代理店または社員と契約され有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

1. ご契約申込みの撤回等（クーリングオフ）

この保険は全国役職員共済会が保険契約者となる団体契約であることから、ご加入のお申込み後に、お申込みの撤回またはご加入の解除（クーリングオフ）を行うことはできません。

2. 告知義務等

(1) 告知義務（ご加入時にお申しいただく事項）

- 被保険者（補償の対象者）には、告知義務があり、代理店・扱者には告知受領権があります。告知義務とは、ご加入時に告知事項について、事実を正確に知らせる義務のことです。
- 告知事項とは、危険に関する重要な事項として引受保険会社が告知を求めるもので、加入申込票に記載された内容のうち、「※」印がついている項目のことです。この項目について、故意または重大な過失によって告知がなかった場合や告知した事項が事実と異なる場合には、ご加入を解除し、保険金をお支払いしないことがあります。加入申込票の記載内容を必ずご確認ください。

【告知事項】

①他の保険契約等^(*)に関する情報

(*)同種の危険を補償する他の保険契約等で、所得補償保険、団体長期障害所得補償保険等をいい、他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。

②被保険者の「生年月日」、「年齢」、「性別」

③被保険者の健康に関する告知

【健康に関する告知について】

- ・被保険者（補償の対象者）の健康状況に関する質問事項（健康状況告知書質問事項）に正確にご回答ください。この質問事項に対するご回答は、口頭ではなく、加入申込票の「健康状況告知書質問事項回答欄」に、必ず被保険者本人ご自身でご記入のうえ、「健康状況告知書質問事項回答欄」にご署名ください。
- ・健康に関する告知の内容によってはご加入をお引受けできない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・ご加入をお引受けした場合でも、ご加入日^{(*)1}からその日を含めて12か月以内に就業障害になった場合で、就業障害の原因となった身体障害について、その被保険者が加入日の前日から遡及して12か月以内に、医師等の治療、診察、診断を受けたとき^{(*)2}は、保険金をお支払いしません。このお取扱い、健康に関する告知に誤りがない場合でも例外ではありませんので、ご注意ください。

詳細は代理店・扱者または引受保険会社までお問合わせください。

(*)1新規にご加入される場合は「この保険契約のご加入時」、継続加入される場合は「継続加入してきた最初の保険契約のご加入時」をいいます。

(*)2治療のための服薬および人間ドックや定期健康診断での指摘を含みます。

親介護一時金支払特約 固有の取扱い	
健康に関する告知について(健康状況告知)	- 基本補償部分の被保険者(子)が特約被保険者(親)を代理してご回答(ご記入・ご署名)してください。告知にあたっては、特約被保険者(親)について、ご存知の内容に基づきご回答いただくのではなく、この書面および「健康状況告知書質問事項」を特約被保険者(親)にご説明のうえ、質問事項に対するご回答をそのままご記入ください。 - 特約被保険者への確認方法についても「確認方法」欄にご記入ください。 - 健康に関する告知の内容によってはご加入をお引受けできない場合があります。
保険期間の開始前の発病等の取扱いについて	ご加入をお引受けした場合でも、ご加入時(*)より前に要介護状態の原因となった事由が生じていた場合は、保険金をお支払いしません。このお取扱いは、健康に関する告知に誤りがない場合でも例外ではありませんので、ご注意ください。 なお、継続加入である場合で、要介護状態の原因となった事由が発生した時が、その事由による要介護状態が開始した日からご加入の継続する期間を遡及して365日以前であるときは保険金をお支払いすることがあります。 (*) 新規にご加入される場合は「この保険契約のご加入時」、同一の保険金を補償する加入タイプを継続加入される場合は、継続加入されてきた最初のその保険金を補償する加入タイプのご加入時をいいます。

(2) その他の注意事項

- 同種の危険を補償する他の保険契約等(*)で、過去3年以内に合計して5万円以上保険金を請求または受領されたことがある場合は、加入申込票の保険金請求履歴欄にその内容を必ずご記入ください。

(*) 同種の危険を補償する他の保険契約等とは同じ被保険者について身体障害による就業障害に対して保険金が支払われる他の保険契約等(所得補償保険、団体長期障害所得補償保険等をいいます。いずれも団体契約、生命保険、共済契約を含みます。)をいいます。

- 保険金の受取人は、普通保険約款・特約に定めております。
- ご加入後、お申込人のご住所などを変更される場合は、遅滞なくご通知いただく必要があります。ご通知いただけない場合は、重要なお知らせやご案内ができないこととなります。
- ご加入後、直前12か月における被保険者の所得の平均月間額が著しく減少した場合は、代理店・扱者または引受保険会社へご通知ください。将来に向かって、支払基礎所得額に約定給付率を乗じた額を、通知する直前の12か月における被保険者の所得の平均月間額まで減額することができず。

- 被保険者が保険契約者以外の方である場合に、保険契約者との別段の合意があるときを除き、被保険者は保険契約者にこの保険契約(*)の解約を求めることができます。この場合、保険契約者はこの保険契約(*)を解約しなければなりません。

(*) 保険契約

その被保険者に係る部分に限ります。

- 複数のご契約があるお客さまへ
補償内容が同様の保険契約(団体長期障害所得補償保険以外の保険契約にセットされた特約や引受保険会社以外の保険契約または共済契約を含みます。)が他にある場合、補償が重複することがあります。補償が重複すると、補償対象となる事故による損害については、いずれの保険契約からでも補償されますが、いずれか一方の保険契約からは保険金が支払われない場合があり、保険料が無駄になることがあります。補償内容の差異や保険金額等を確認し、ご加入の要否をご判断のうえ、ご加入ください。

(注) 1 契約のみご加入した場合、ご加入を解約したときや、状況の変化により被保険者が補償の対象外となったとき等は、補償がなくなる場合がありますのでご注意ください。

<補償が重複する可能性のある主なご契約>

今回ご加入いただく補償	補償の重複が発生する他の保険契約の例
団体長期障害所得補償保険	他の団体長期障害所得補償保険 所得補償保険

3. 補償の開始時期

始期日の午後4時(中途加入の場合は中途加入日の午前0時)に補償を開始します。保険料は、本パンフレット記載の方法によりお払込みください。本パンフレット記載の方法により保険料をお払込みいただけない場合には、保険期間が始まった後であっても、保険金をお支払いしません。

4. 保険金をお支払いしない主な場合(主な免責事由)等

(1) 保険金をお支払いしない主な場合

本パンフレットをご参照ください。なお、保険金を支払わない場合の詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目および協定書に記載されておりますのでご確認ください。

(2) 重大事由による解除

次のいずれかに該当する事由がある場合には、ご契約および特約を解除することがあります。この場合には、全部または一部の保険金をお支払いできません。

- ① 保険契約者、被保険者、保険金受取人が、保険金を支払わせることを目的として身体障害等が発生させた場合
- ② 保険契約者または被保険者が、暴力団関係者その他の反社会的勢力に該当すると認められた場合
- ③ 被保険者または保険金受取人が保険金の請求について詐欺を行った場合
- ④ 親介護一時金支払特約をセットした場合、複数の保険契約に加入することで特約被保険者の保険金額の合計額が著しく過大となるとき

など

5. 保険料の払込猶予期間等の取扱い

保険料は、本パンフレット記載の方法によりお払込みください。本パンフレット記載の方法により保険料をお払込みいただけない場合には、保険金をお支払いできないことがあります。また、ご契約を解除することがあります。

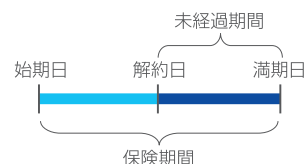
6. 失効について

ご加入後に、被保険者が死亡された場合、または、被保険者がこの保険契約に基づき保険金が支払われる就業障害の原因となったケガや病気以外の原因によって、所得を得ることができないいかなる業務にも従事しなくなった場合もしくは従事できなくなった場合には、この保険契約は失効となります。この場合、未経過期間分の保険料を返還します。

7. 解約と解約返れい金

ご加入を中途で脱退(解約)される場合は、代理店・扱者または引受保険会社に速やかに申し出てください。

- ・脱退(解約)日から満期日までの期間に応じて、解約返れい金を返還させていただきます。ただし、解約返れい金は原則として未経過期間分よりも少なくなります。
- ・始期日から脱退(解約)日までの期間に応じて払込みいただくべき保険料について、追加のご請求をさせていただくことがあります。追加で請求したにも関わらず、その払込みがない場合は、ご加入を解除することがあります。



8. 保険会社破綻時等の取扱い

本パンフレットをご参照ください。

9. 個人情報の取扱いについて

この保険契約に関する個人情報について、引受保険会社が次の取扱いを行うことに同意のうえお申し込みください。

【個人情報の取扱いについて】

この保険契約に関する個人情報は、引受保険会社がこの保険引受の審査および履行のために利用するほか、引受保険会社および引受保険会社のグループのそれぞれの会社(海外にあるものを含む)が、この保険契約以外の商品・サービスのご案内・ご提供や保険引受の審査および保険契約の履行のために利用したり、提携先・委託先等の商品・サービスのご案内のために利用することがあります。ただし、保健医療等のセンシティブ情報(要配慮個人情報を含む)の利用目的は、法令等に従い、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定します。

また、引受保険会社は、この保険契約に関する個人情報を利用目的の達成に必要な範囲内で、保険契約者、業務委託先(保険代理店を含む)、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先等(いずれも海外にあるものを含む)に提供することがあります。ただし、加入者の保険金請求状況や病名を含む事故その他センシティブ情報は、以下の目的の範囲で保険契約者、保険代理店および扱者(募集人)に提供します。

- ① 契約の安定的な運用に向けた事故発生状況の詳細な分析のため
- ② 継続契約における加入可否および補償内容の変更の検討のため
- ③ 本保険制度の募集文書に掲載する事故事例の参考とするため
- ④ その他、上記①～③に準じて契約の安定的な供給を維持するため

○ 契約等の情報交換について

引受保険会社は、この保険契約に関する個人情報について、保険契約の締結ならびに保険金支払いの健全な運営のため、一般社団法人 日本損害保険協会、損害保険料率算出機構、損害保険会社等の間で、登録または交換を実施することがあります。

○ 再保険について

引受保険会社は、この保険契約に関する個人情報を、再保険契約の締結、再保険契約に基づく通知・報告、再保険金の請求等のために、再保険引受会社等(海外にあるものを含む)に提供することがあります。

引受保険会社の個人情報の取扱いに関する詳細、商品・サービス内容、引受保険会社のグループ会社の名称、契約等情報交換制度等については、三井住友海上ホームページ(<https://www.ms-ins.com>)または引受保険会社のホームページをご覧ください。

10. 「現在のご契約の解約・減額を前提とした新たなご契約」のご注意

現在のご契約について解約、減額などの契約内容の変更をされる場合には、

被保険者にとって不利益となるときがあります。また、新たにお申込みの保険契約についても制限を受ける場合があります。

- (1) 現在のご契約について解約、減額などをする場合の不利益事項
多くの場合、現在のご契約の解約返れい金はお払込みいただいた保険料の合計額よりも少ない金額となります。
- (2) 新たな契約(団体長期障害所得補償保険)をお申込みされる場合のご注意事項
① 新たにお申込みの保険契約については、被保険者の健康状況などによ

りご加入をお引受けできない場合があります。

- ② 新たな契約の保険期間の開始日より前に就業障害の原因となった身体障害を被っていた場合、保険金をお支払いできないことがあります。
- ③ 新たな契約の始期日における被保険者の年齢により計算した保険料を適用し、新たな契約の普通保険約款・特約を適用します。そのため、新たな契約の商品内容が、現在のご契約と異なることがあります。
- (*) 保険料の改定により、同じ年齢でも保険料が異なることがあります。

この保険商品に関するお問い合わせは

【代理店・扱者】株式会社アイアンドアイサービス
TEL:03-6836-1330

三井住友海上へのご相談・苦情・お問い合わせは

「三井住友海上お客さまデスク」 0120-632-277(無料)

「チャットサポートなどの各種サービス」
こちらからアクセスできます。
<https://www.ms-ins.com/contact/cc/>



万一、ケガをされたり、病気になる場合は

遅滞なく代理店・扱者または下記にご連絡ください。
24時間365日事故受付サービス
「三井住友海上事故受付センター」
0120-258-189(無料)
事故は いち早く

指定紛争解決機関

引受保険会社は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人 日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。引受保険会社との間で問題を解決できない場合には、一般社団法人 日本損害保険協会にご相談いただくか、解決の申し立てを行うことができます。

一般社団法人 日本損害保険協会 そんぽADRセンター
【ナビダイヤル(全国共通・通話料有料)】0570-022-808

・受付時間[平日 9:15～17:00(土日・祝日および年末年始を除きます)]
・携帯電話からも利用できます。IP 電話からは03-4332-5241におかけください。
・おかけ間違いにご注意ください。
・詳細は、一般社団法人 日本損害保険協会のホームページをご覧ください。
<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/adr/index.html>

保険金をお支払いする場合に該当したときの引受保険会社へのご連絡

● 保険金をお支払いする場合に該当したときは、代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。保険金請求の手続きにつきまして詳しくご案内いたします。なお、保険金をお支払いする場合に該当した日から30日以内にご連絡がない場合、もしくは知っている事実を告げなかった場合、または事実と異なることを告げた場合は、引受保険会社はそれによって被った損害の額を差し引いて保険金をお支払いすることがあります。

保険金支払いの履行期

● 引受保険会社は、保険金請求に必要な書類^(※1)をご提出いただいた日からその日を含めて30日以内に、保険金をお支払いするために必要な事項の確認^(※2)を終えて保険金をお支払いします。^(※3)

(※1) 保険金請求に必要な書類は、「保険金のご請求時にご提出いただく書類」をご参照ください。代理請求人が保険金を請求される場合は、被保険者が保険金を請求できない事情を示す書類をご提出いただきます。

(※2) 保険金をお支払いする事由の有無、保険金をお支払いしない事由の有無、保険金の額の算出、保険契約の効力の有無、その他引受保険会社がお支払いすべき保険金の額の確定のために確認が必要な事項をいいます。

(※3) 必要な事項の確認を行うために、警察などの公の機関の捜査結果の照会、医療機関など専門機関の診断結果の照会、災害救助法が適用された被災地における調査、日本国外における調査等が必要な場合には、普通保険約款・特約に定める日数までに保険金をお支払いします。この場合、引受保険会社は確認が必要な事項およびその確認を終える時期を被保険者または保険金を受け取るべき方に通知します。

保険金のご請求時にご提出いただく書類

● 被保険者または保険金を受け取るべき方(これらの方の代理人を含みます。)*が保険金の請求を行う場合は、事故受付後に引受保険会社が求める書類をご提出いただきます。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

【ご提出いただく書類】
以下の書類のうち引受保険会社が求めるもの
・引受保険会社所定の保険金請求書 ・引受保険会社所定の同意書
・事故原因・損害状況に関する資料 ・被保険者またはその代理人の保険金請求であることを確認するための資料(住民票、戸籍謄本 等)
・引受保険会社所定の診断書 ・診療状況申告書 ・公の機関(やむを得ない場合は第三者)等の事故証明書 ・死亡診断書 ・休業・所得証明書
・所得を証明する書類(源泉徴収票、確定申告書 等)
・他から支払われる保険金・給付金等の額を確認する書類
事故の内容、損害額等に応じて上記の書類以外の書類をご提出いただくようお願いすることがあります。

ご注意

● この保険は全国役職員共済会が保険契約者となる団体契約であり、保険契約者より加入をご案内しています。被保険者が保険料を負担される場合、保険契約者が保険料をとりまとめるうえ引受保険会社に払い込みます。なお、保険契約者が引受保険会社に保険料を払い込まなかった場合には、保険契約が解除され保険金が支払われないことがあります。また、保険契約者または被保険者がご加入の取消等をされた場合、引受保険会社は返還保険料を保険契約者に返還します。

● ご加入いただいた後にお届けする加入者証は、内容をご確認のうえ、大切に

代理請求人について

高度障害状態となり、意思能力を喪失した場合など、被保険者に保険金を請求できない事情があり、かつ、保険金を受け取るべき被保険者の代理人がいない場合には、引受保険会社の承認を得て、その被保険者と同居または生計を共にする配偶者^(※)等(以下「代理請求人」といいます。詳細は(注)をご参照ください。)*が保険金を請求できることがあります。詳細は代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。また、**本内容については、代理請求人となられる方にも必ずご説明ください。**

(注) ①「被保険者と同居または生計を共にする配偶者^(※)」
② 上記①に該当する方がいないまたは上記①に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合
「被保険者と同居または生計を共にする3 親等内の親族」
③ 上記①、②に該当する方がいないまたは上記①、②に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合
「上記①以外の配偶者^(※)」または「上記②以外の3親等内の親族」

(※) 法律上の配偶者に限ります。

経営破綻した場合等の保険契約者の保護について

● 引受保険会社の経営が破綻した場合など保険会社の業務または財産の状況の変化によって、ご加入時にお約束した保険金・解約返れい金等のお支払いが一時期凍結されたり、金額が削減されたりすることがあります。

● 損害保険会社が経営破綻した場合に保険契約者等を保護する目的で、「損害保険契約者保護機構」があり、引受保険会社も加入しています。この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象であり、損害保険会社が破綻した場合でも、次のとおり補償されます。
保険金・解約返れい金等は90%まで補償されます。ただし、破綻前に発生した事故による保険金は100%補償されます。

自動継続の取扱いについて

● 前年からお加入の皆さまについては、ご加入内容の変更や継続停止のご連絡がない場合、今回の募集においては前年ご加入の内容に応じたセット・口数での自動継続加入の取扱いとさせていただきます。(年齢の進行により保険料表の年齢区分が変わる場合は、ご継続時のご年齢による保険料となりますのでご了承ください。)

<税法上の取扱い> (2026年5月現在)

● 払い込んでいただく保険料は生命保険料控除のうち介護医療保険料控除の対象となり、所得税について最高40,000円まで、住民税について最高28,000円までが毎年の課税対象額から控除されます。

(注) なお、この取扱いは今後の税制改正によっては変更となる場合がありますので、ご注意ください。

に保管してください。

● お申込人となれる方は全国役職員共済会の構成員(所属する生協の健康保険に本人加入しているパートタイマー・嘱託職員を含みます)本人に限ります。

● この制度で被保険者(補償の対象者)本人^(※)となれる方の範囲は、全国役職員共済会の構成員(所属する生協の健康保険に本人加入しているパートタイマー・嘱託職員を含みます)本人です。

(※) 加入申込票の被保険者ご本人欄に記載の方をいいます。

- この保険の保険期間は1年間となります。保険金請求状況等によっては、保険期間終了後、継続加入できないことや補償内容を変更させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 保険金請求状況等とは、加入者間の公平性を逸脱する極端な保険金支払いまたはその請求があった場合、飲酒運転等の法令違反や事実を偽った保険金請求が行われた場合等をいいます。
- 引受保険会社が、普通保険約款・特約、保険契約引受に関する制度または保険料率等を改定した場合、改定日以降の日を始期日とする継続契約につきましては、その始期日における普通保険約款・特約、保険契約引受に関する制度または保険料率等が適用されます。そのため、継続契約の補償等の内容や保険料が継続前の保険契約と異なること、または継続加入できないことがあります。あらかじめご了承ください。

保険金をお支払いする場合・お支払いする保険金の額・保険金をお支払いしない主な場合

※印を付した用語については、11 ページの「※印の用語のご説明」をご覧ください。(各欄の初出時のみ※印を付しています。)

お支払いする保険金のご説明【団体長期障害所得補償保険】

団体長期障害所得補償保険の普通保険約款、特約または協定事項明細書(協定書)(以下「協定書」といいます)の補償内容および保険金をお支払いしない主な場合をご説明します。詳しくは、ご契約のしおり(普通保険約款・特約)または協定書をご参照ください。

(注)ご契約のしおり(普通保険約款・特約)および協定書は保険契約者が保管しています。また、協定書は保険契約者と引受保険会社との間で取り交わしております。

普通保険約款の補償内容

<ご注意>

被保険者またはそのご家族がご契約されている他の保険契約等(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約または共済契約を含みます。)により、既に被保険者について同種の補償がある場合、補償が重複し、保険料が無駄になることがあります。

補償が重複すると、補償の対象となる事故について、どちらの保険契約からでも補償されますが、いずれか一方の保険契約からは保険金が支払われない場合があります。

補償内容の差異や保険金額等を確認していただき、ご加入の要否をご判断のうえ、加入してください。

(*)複数あるご契約のうち、これらの補償が1つのご契約のみにセットされている場合、ご契約を解約されたとき等は、補償がなくなることがありますのでご注意ください。

1. 被保険者(補償の対象となる方)が身体障害^{*}を被り、その直接の結果として保険期間中に就業障害^{*}が開始した場合に限り、てん補期間^{*}中の就業障害である期間に対して、保険金の算出の基礎となる支払基礎所得額^{*}を基に普通保険約款、協定書記載の方法により算出した額を保険金としてお支払いします。
2. 被保険者は協定書に規定された方となります。
3. 保険金支払対象外の身体障害の影響などにより、保険金を支払うべき身体障害の程度が大きくなった場合は、その影響がなかったときに相当する金額をお支払いします。

<団体長期障害所得補償保険金>

保険金をお支払いする場合

身体障害^{*}により、就業障害^{*}となった場合

お支払いする保険金の額

てん補期間^{*}中の就業障害^{*}である期間1か月につき、次の額をお支払いします。

$\text{支払基礎所得額}^* \times \text{所得喪失率}^* \times \text{約定給付率}^* (100\%)$

(注1)お支払いする保険金の額は、てん補期間中の就業障害である期間1か月について、協定書に定める最高保険金支払月額^{*}(100万円)を限度とします。

(注2)協定書に定めるてん補期間を限度とします。

(注3)支払基礎所得額に約定給付率を乗じた額が平均月間所得額^{*}を超える場合は、平均月間所得額を約定給付率で割った額を支払基礎所得額とします。

(注4)てん補期間中における就業障害である期間が1か月に満たない場合または1か月未満の端日数が生じた場合は、1か月を30日とした日割計算により保険金の額を決定します。

(注5)同一の身体障害^{*}により、免責期間^{*}を超える就業障害が終了した日からその日を含めて6か月以内に再び就業障害となった場合は、前の就業障害と同一の就業障害として取り扱います。

(注6)保険金または共済金が支払われる他の保険契約等^{*}がある場合において、それぞれの保険契約または共済契約の支払責任額^{*}の合計額が、平均月間所得額に所得喪失率を乗じた額を超えるときは、下記の額を就業障害である期間1か月あたりの保険金としてお支払いします。

- ・他の保険契約等から保険金または共済金が支払われていない場合は、この保険契約の就業障害である期間1か月あたりの支払責任額^{*}
- ・他の保険契約等から保険金または共済金が支払われた場合は、平均月間所得額に所得喪失率を乗じた額から、他の保険契約等から支払われた就業障害である期間1か月あたりの保険金または共済金の合計額を差し引いた残額。ただし、この保険契約の就業障害である期間1か月あたりの支払責任額^{*}を限度とします。

(*)他の保険契約等がないものとして算出した支払うべき保険金または共済金の額をいいます。

【継続加入において、継続前後でご契約のお支払条件が異なる場合のご注意】就業障害を補償するご契約に継続加入の場合で、ケガの原因となった事故発生の時または病気を発病した時がこの保険契約の保険期間の開始日より前

- 柔道整復師(接骨院、整骨院等)による施術の場合、就業障害である期間の認定にあたっては、傷害の部位や程度に応じ、医師の治療に準じて認定し、お支払いします。また、鍼(はり)・灸(きゅう)・マッサージなどの医療類似行為については、医師の指示に基づいて行われた施術のみ、お支払いの対象となります。

- この保険契約は共同保険に関する特約に基づく共同保険契約です。それぞれの引受保険会社は、引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。また、三井住友海上は、幹事保険会社として他の引受保険会社の業務および事務の代理・代行を行います。(なお、共同保険の引受保険会社は、三井住友海上(幹事会社)、共栄火災、東京海上日動火災、損保ジャパンです。それぞれの会社の引受割合は決定しだいご案内します。)

であるときは、保険金のお支払額は次の①または②の金額のうち、いずれか低い金額となります。

- ①ケガの原因となった事故発生の時または病気を発病した時の保険契約のお支払条件で算出した金額
 - ②この保険契約のお支払条件で算出した金額
- ただし、ケガの原因となった事故発生の時または病気を発病した時が就業障害となった日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは、②により算出した金額をお支払いします。

保険金をお支払いしない主な場合

- (1)新規加入日からその日を含めて12か月以内に就業障害^{*}になった場合、就業障害の原因となった身体障害^{*}について、新規加入日の前日から遡及して12か月以内に、医師等の治療、診察、診断を受けたとき、治療のために服薬していたとき、または、通常は医師に診察を受けるような症状が現れていたときは、保険金をお支払いできません。
- (2)次のいずれかの就業障害^{*}に対しては、保険金をお支払いできません。
 - ①保険契約者、被保険者または保険金受取人の故意または重大な過失によって被った身体障害による就業障害
 - ②被保険者の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって被った身体障害による就業障害
 - ③治療を目的として医師が使用した場合以外における被保険者の麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、シンナー等の使用によって被った身体障害による就業障害
 - ④戦争、外国の武力行使、革命、内乱等の事変または暴動によって被った身体障害による就業障害^{(*)1}
 - ⑤地震もしくは噴火またはこれらによる津波によって被った身体障害による就業障害^{(*)2}
 - ⑥核燃料物質などの放射性・爆発性・有害な特性によって被った身体障害による就業障害
 - ⑦上記⑥以外の放射線照射または放射能汚染によって被った身体障害による就業障害
 - ⑧むちうち症または腰痛等で医学的他覚所見のないものによる就業障害^{(*)3}
 - ⑨被保険者が次のいずれかに該当する間に発生した事故によって被ったケガによる就業障害
 - ア.法令に定められた運転資格を持たないで自動車または原動機付自転車運転している間
 - イ.道路交通法第65条第1項に定める酒気を帯びた状態で自動車または原動機付自転車運転している間
 - ⑩被保険者が被った精神障害を原因として発生した就業障害^{(*)4}
 - ⑪被保険者の妊娠、出産、早産または流産によって被った身体障害による就業障害^{(*)5}
 - ⑫発熱等の他覚的症候のない感染による就業障害^{(*)6}

- (3)健康に関する告知の回答内容等により補償対象外となっている病気^{(*)7}等(加入者証等に記載されます。)による就業障害に対しては、保険金をお支払いできません。

(*)1 テロ行為によって発生した身体障害に関しては、自動セットの特約により保険金お支払いの対象となります。

(*)2 「天災危険補償特約」がセットされた場合、保険金お支払いの対象となります。

(*)3 被保険者が自覚症状を訴えている場合であっても、レントゲン検査、脳波所見、神経学的検査、眼科・耳鼻科検査等によりその根拠を客観的に証明することができないものをいいます。

(*)4 「精神障害補償特約」がセットされた場合、平成6年10月12日総務庁告示第75号に定められた分類項目^{(*)8}中の次の分類番号に該当する精神障害(統合失調症、躁(そう)病、うつ病等)を原因として発生した就業障害は保険金のお支払い対象となります。

- (1)F04～F09
- (2)F20～F51
- (3)F53～F54
- (4)F59～F63
- (5)F68～F69
- (6)F84～F89
- (7)F91～F92
- (8)F95
- (9)F99

(*)5 「妊娠に伴う身体障害補償特約」^{(*)9}がセットされた場合、保険金のお支払い対象となります。

(*)6 病原体が生体内に侵入、定着、増殖することをいいます。

(*)7 その病気と医学上因果関係がある病気を含みます。

(*)8 分類項目の内容については厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病、傷害および死因統計分類提要 ICD-10(2003年版)準拠」によりします。

(*)9 女性の被保険者にのみセット可能です。

親介護一時金支払特約の補償内容

1. 被保険者が要介護状態となった場合に保険金をお支払いします。
(注) 要介護状態とは、被保険者が次のいずれかに該当する状態をいいます。

①	公的介護保険制度の第1号被保険者 ^(※1) である場合	公的介護保険制度に基づく要介護状態区分が「3」以上 ^(※3) の状態
②	公的介護保険制度の第2号被保険者 ^(※2) である場合	公的介護保険制度に基づく要介護状態区分が「3」以上 ^(※3) の状態。ただし、介護が必要な状態となった原因が、公的介護保険制度の要介護認定等の対象となる特定疾病 ^(※4) に該当しない場合は、寝たきりにより介護が必要な状態または認知症により介護が必要な状態とします。
③	公的介護保険制度の被保険者でない場合	寝たきりにより介護が必要な状態または認知症により介護が必要な状態

- (※1) 介護保険法第9条第1号に規定する65才以上の方をいいます。
(※2) 介護保険法第9条第2号に規定する40才以上65才未満の方をいいます。
(※3) 「要介護3以上から要介護2以上への補償範囲拡大に関する特約(介護一時金支払特約用)」をセットした場合は、要介護状態区分「2」以上となります。
(※4) 介護保険法第7条第3項第2号に定める特定疾病をいい、2022年10月1日現在では、次の病気をいいます。

がん(医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと判断したもの)、関節リウマチ、筋萎縮性側索硬化症、後縦靭帯骨化症、骨折を伴う骨粗鬆症、初老期における認知症(脳血管疾患、アルツハイマー病その他の要因に基づく脳の器質的な変化により日常生活に支障が生じる程度にまで記憶機能およびその他の認知機能が低下した状態をいいます)、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、脊柱管狭窄症、早老症、多系統萎縮症、糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症、脳血管疾患、閉塞性動脈硬化症、慢性閉塞性肺疾患、両側の膝関節または股関節に著しい変形を伴う変形性関節症

2. 親介護一時金支払特約の被保険者は、その特約の被保険者として加入者証等に記載された方となります。

<介護一時金>

保険金をお支払いする場合

被保険者が要介護状態となり、その要介護状態が要介護状態開始日からその日を含めて加入者証等に記載されたフランチャイズ期間を超えて継続した場合

- (注1) 要介護状態開始日とは、次のいずれか早い日をいいます。
①被保険者が要介護状態であることを医師が診断した日
②被保険者に対し、公的介護保険制度の要介護認定等(要介護状態区分「3」以上^(※))の効力が生じた日
(注2) 保険金支払対象外となる事由の影響などによって、要介護状態の程度が大きくなった場合は、その影響がなかったときに相当する金額をお支払いします。
(※) 「要介護3以上から要介護2以上への補償範囲拡大に関する特約(介護一時金支払特約用)」をセットした場合は、要介護状態区分「2」以上となります。
(注3) 【継続加入において、継続前後でご契約のお支払条件が異なる場合のご注意】
被保険者が要介護状態となった場合に補償する加入タイプに継続加入の場合で、要介護状態の原因となった事由が発生した時がこの保険契約の保険期間の開始日より前であるときは、保険金のお支払額は次の①または②の金額のうち、いずれか低い金額となります。
①または②の金額のうち、いずれか低い金額となります。
①要介護状態の原因となった事由が発生した時の保険契約のお支払条件で算出した金額
②この保険契約のお支払条件で算出した金額
ただし、要介護状態の原因となった事由が発生した時が、その要介護状態の要介護状態開始日からご加入の継続する期間を遡及して365日以前であるときは、②により算出した金額をお支払いします。

お支払いする保険金の額

介護一時金額^(※)の全額

- (※) 加入者証等に「親介護一時金」として記載されている金額をいいます。
(注) 介護一時金をお支払いした場合、その被保険者についてこの特約は失効します。

保険金をお支払いしない主な場合

- (1) 保険期間の開始時(継続契約の場合は継続されてきた最初の保険期間の開始時)より前に要介護状態の原因となる事由が発生していた場合は、保険金をお支払いできません。^(※1)
(2) 次のいずれかによって発生した要介護状態に対しては保険金をお支払いできません。
① 保険契約者、被保険者または保険金受取人の故意または重大な過失
② 被保険者の闘争行為、自殺行為または犯罪行為
③ 戦争、外国の武力行使、革命、内乱等の事変、暴動^(※2)
④ 地震もしくは噴火またはこれらによる津波
⑤ 核燃料物質などの放射性・爆発性・有害な特性による事故
⑥ 上記⑤以外の放射線照射または放射能汚染
⑦ むちうち症または腰痛等で医学的見解のないもの^(※3)

- ⑧ 治療を目的として医師が使用した場合以外における被保険者の麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、シンナー等の使用
⑨ 治療を目的として医師が薬物を使用した場合以外における被保険者のアルコール依存、薬物依存または薬物乱用
⑩ 被保険者が次のいずれかに該当する間に発生した事故
ア. 法令に定められた運転資格を持たないで自動車または原動機付自転車運転している間
イ. 道路交通法第65条第1項に定める酒気を帯びた状態で自動車または原動機付自転車を運転している間
(3) 被保険者が治療を怠ったことまたは保険契約者もしくは保険金受取人が治療を怠ったことにより、要介護状態となった場合や要介護状態が加入者証等に記載されたフランチャイズ期間を超えて継続した場合は、保険金をお支払いできません。

- など
(※1) 被保険者が要介護状態の原因となる事由が発生した時が、その要介護状態の要介護状態開始日から保険契約の継続する期間を遡及して365日以前である場合は、その要介護状態の原因となった事由は、保険期間の開始日以降に発生したものとして保険金お支払いの対象となります。
(※2) テロ行為によって発生した要介護状態に関しては自動セットの特約により保険金お支払いの対象となります。
(※3) 被保険者が自覚症状を訴えている場合であっても、レントゲン検査、脳波所見、神経学的検査、眼科・耳鼻科検査等によりその根拠を客観的に証明することができないものをいいます。

※印の用語のご説明

- 「回復所得額」とは
免責期間*開始以降に業務に復帰して得た所得*の額をいいます。ただし、免責期間開始時点と比べて物価の変動があった場合には、物価の変動による影響がなかったものとして算出します。
● 「最高保険金支払月額」とは
1被保険者について、1か月あたりの保険金支払の最高限度となる協定書に記載された金額をいいます。
● 「支払基礎所得額」とは
保険金の算出の基礎となる額をいい、 $\frac{1}{\text{□あたり保険金額}} \times \text{加入□数}$ によって算出した額となります。
● 「就業障害」とは
被保険者が身体障害*を被り、その直接の結果として就業に支障が発生している協定書に記載された状態をいいます。
てん補期間*開始後においては、身体障害により、被保険者が身体障害発生直前に従事していた業務に全く従事できないか、または一部従事することができず、かつ所得喪失率*が20%超であることをいいます。
免責期間*中においては、被保険者の経験・能力に応じたいかなる業務にも従事できない状態をいいます。
なお、被保険者が死亡した後は、いかなる場合でも就業障害とはいいません。
● 「所得」とは
業務に従事することによって得られる給与所得、事業所得または雑所得に係る総収入金額から、就業障害*となることにより支出を免れる金額を差し引いたものをいいます。ただし、就業障害の発生にかかわらず得られる収入は所得に含みません。
● 「所得喪失率」とは
次の算式によって算出された割合をいいます。
$$\text{割合} = 1 - \frac{\text{免責期間*終了日の翌日から起算した各月における回復所得*}}{\text{免責期間が開始する直前の、上記期間に対応する各月における所得の額}}$$

ただし、所得*の額につき給与体系の著しい変動その他の特殊な事情の影響があった場合、または身体障害*の程度や収入の状況の勘案が必要な場合は、所得喪失率の算出につき公正な調整を行うものとします。

- 「身体障害」とは
傷害(「ケガ」といいます)および疾病(「病気」といいます)をいいます。また、ケガにはケガの原因となった事故を含みます。
● 「他の保険契約等」とは
この保険契約の全部または一部に対して支払責任が同じである他の保険契約または共済契約をいいます。
● 「てん補期間」とは
引受保険会社が保険金をお支払いする限度とする期間で、免責期間*終了日の翌日からその日を含めて協定書に記載された期間をいいます。
「精神障害補償特約」がセットされた場合、この特約による保険金のお支払いは、基本契約のてん補期間にかかわらず、免責期間終了日の翌日から起算して「24か月」が限度です。
● 「平均月間所得額」とは
被保険者の就業障害*が開始した日の属する月の直前12か月について、以下のとおり計算した額をいいます。ただし、就業規則等に基づく出産・育児または介護を目的とした休業を取得していたことにより所得が減少していた場合等は、客観的かつ合理的な方法により計算します。

$$\text{平均月間所得額} = \frac{(\text{年間収入額}^{(※1)}) - (\text{働けなくなったことにより支出を免れる金額}^{(※2)})}{12(\text{か月})}$$

- (※1) 給与所得、事業所得または原稿料等の雑所得に係る税引き前の収入で、利子所得、配当所得、不動産所得等は含みません。就労の有無にかかわらず得られる役員報酬等がある場合にはこれらも含みません。
(※2) 被保険者が事業所得者の場合は、その事業に要する経費のうち、接待交際費・旅費交通費などをいいます。
● 「免責期間」とは
保険金をお支払いしない協定書に記載された就業障害*が継続する期間をいいます。
「妊娠に伴う身体障害補償特約」がセットされた場合、この特約の免責期間は設定されている免責期間または90日のいずれか長い方の期間とします。
● 「約定給付率」とは
保険金の算出の基礎となる加入者証等に記載された率をいいます。



お申込みのしかた

- 1.パンフレットをよくお読みください。
- 2.加入申込票と健康状況告知書に必要事項をご記入ください。(15ページの記入例参照)
- 3.加入申込票兼健康状況告知書を所属生協の役職員共済担当者へご提出ください。
- 4.ご加入の申込みが確認されますと、加入者証を所属生協経由でお渡しいたします。

団体長期障害所得補償保険 健康状況告知書ご記入のご案内(必ずお読みください)

以下の注意点をお読みいただき、加入申込票の「健康状況告知書質問事項回答欄」にご記入ください。

〈継続加入の場合で、保険責任を加重^(*)することなく継続いただく場合には、あらためて健康に関する告知をいただく必要はありません。〉

(*)支払基礎所得額の増額、免責期間の短縮、てん補期間の延長等、補償を拡大することをいいます。

1. 健康に関する告知の重要性

健康状況について告知いただく内容は、引受保険会社が公平な引受判断を行うための重要な事項です。必ず被保険者(補償の対象者)ご自身が、ありのままを正確に漏れなくご回答ください。

親介護一時金支払特約 固有の取扱い

- ・基本補償部分の被保険者(子)が特約被保険者(親)を代理してご回答(ご記入・ご署名)してください。告知にあたっては、特約被保険者(親)について、ご存知の内容に基づきご回答いただくのではなく、このご案内および「健康状況告知書質問事項」を特約被保険者(親)にご説明のうえ、質問事項に対するご回答をそのままご記入ください。
- ・特約被保険者への確認方法についても「確認方法」欄にご記入ください。

2. 正しく告知されなかった場合のお取扱い

「健康状況告知書質問事項」について、事実を告知されなかったり、事実と違うことを告知された場合には、ご加入内容が解除または取消しとなり、保険金をお支払いできないことがあります。

3. 書面によるご回答のお願い

- ・代理店・扱者には告知受領権があり、代理店・扱者に対して告知いただいた事項は、引受保険会社に告知いただいたものとなります。
- ・代理店・扱者への口頭によるご回答では、健康状況を告知いただいたことになりません。必ず加入申込票の「健康状況告知書質問事項回答欄」へのご記入にてご回答いただきますようお願いいたします。

4. 健康に関する告知が必要な方

- ・「団体長期障害所得補償保険」に新たにお申込みいただく方、および継続して加入される場合で保険金額の増額など補償内容を拡大するご加入内容のご変更を伴う方は、健康に関する告知をいただく必要があります。
- ・「親介護一時金支払特約」に新たにお申込みいただく方、補償内容を拡大するご加入内容のご変更を行う方は、別途「親介護一時金専用」の告知をいただく必要があります。
- ・「健康状況告知書質問事項」のご回答に「はい」がある場合、ご加入いただけません。

5. 現在のご契約を解約・減額され、新たにご加入を検討されているお客さまへ

※詳しくは重要事項のご説明(注意喚起情報)をご覧ください。
現在のご契約を解約・減額され、新たにご加入される場合も、新規に

ご加入される場合と同様に「健康状況告知書質問事項」にご回答いただく必要があります。現在の健康状況等によっては、ご加入いただけないことがあります。また、正しく告知をされなかった場合にはご加入内容が解除または取消しとなることがあります。

6. 保険期間の開始前の発病等のお取扱い

ご加入をお引受けした場合でも、ご加入日^{(*)1}からその日を含めて12か月以内に就業障害になった場合で、就業障害の原因となった身体障害について、その被保険者が加入日の前日から遡及して12か月以内に、医師等の治療、診察、診断を受けたとき^{(*)2}は、保険金をお支払いしません。このお取扱いは、健康に関する告知に誤りがない場合でも例外ではありませんので、ご注意ください。

詳細は代理店・扱者または引受保険会社までお問合わせください。

(*)1 新規にご加入される場合は「この保険契約のご加入時」、継続加入される場合は「継続加入してきた最初の保険契約のご加入時」をいいます。

(*)2 治療のための服薬および人間ドックや定期健康診断での指摘を含みます。

親介護一時金支払特約 固有の取扱い

ご加入をお引受けした場合でも、ご加入時^(*)より前に要介護状態の原因となった事由が生じていた場合は、保険金をお支払いしません。このお取扱いは、健康に関する告知に誤りがない場合でも例外ではありませんので、ご注意ください。

なお、継続加入である場合で、要介護状態の原因となった事由が発生した時が、その事由による要介護状態が開始した日からご加入の継続する期間を遡及して365日以前であるときは保険金をお支払いすることがあります。

(*) 新規にご加入される場合は「この保険契約のご加入時」、同一の保険金を補償する加入タイプを継続加入される場合は、「継続加入されてきた最初のその保険金を補償する加入タイプのご加入時」をいいます。

7. その他ご留意いただく点

- ・ご加入のお申込後または保険金のご請求の際、引受保険会社の社員または引受保険会社で委託した確認担当者が健康状況の告知内容を確認させていただく場合があります。
- ・「健康状況告知書質問事項」にご回答いただいた後に、万一、告知内容の漏れ・誤りに気づかれた場合は代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。告知内容の訂正の手続きをご案内します。ただし、お申出内容によっては訂正をお受けできずご加入をそのまま継続いただけない場合があります。

特定の疾病・症状群について保険金をお支払いしない条件でご加入されているお客さまへ

・継続加入していただいているお客さまは、特定の疾病・症状群について保険金をお支払いしない条件で加入されている場合があります。現在ご加入いただいているご契約の加入者証や、加入申込票の「特定疾病対象外欄」に表示されている疾病コードに属する疾病・症状群^(*)については、保険金をお支払いしません。

(*) お支払対象外となる疾病コードと医学上因果関係が認められる疾病・症状についても対象外となります。

・ご継続時には、あらためて現在の健康状況等に応じた告知をしていただくことができます。

なお、保険期間の途中で特定の疾病・症状群について保険金をお支払いしない条件の削除・変更を行うことはできません。

あらためて告知される場合、告知の結果によって以下いずれかのお取扱いとなります。

<告知の結果、お引受けできる場合>

特定の疾病・症状群について保険金をお支払いしない条件を削除してご加入いただくことができます。

加入申込票の「特定疾病対象外欄」に疾病コード、疾病・症状名(カナ)が表示されている場合は、右記のとおりご記入ください。

なお、条件を削除してご継続いただいた場合でも、保険金のお支払有無は、発病時点の保険契約の条件で判断することがあります。

【保険金をお支払いしない条件を削除する場合の記入方法】

加入申込票の疾病コード、疾病・症状名(カナ)を二重線で削除したうえで、ご加入後の補償内容に応じた質問事項にご回答ください。

親介護一時金 以外用		※ 健康状況告知書質問事項回答欄 最終頁の質問事項に正確にご回答ください。	
質問①	質問②	特定疾病対象外欄	
L53 はい ③	L54 はい ③	L45 疾病コード = R0 = 鈴木 一郎	
		562 疾病・症状名 (カタカナ) = コウカクノカサ 鈴木 一郎	
いいえ ④	いいえ ④	○ お引受けできません	
※ 告知書ご署名欄 (注) をご確認のうえ、必ず被保険者ご本人がフルネームでご署名ください。告知欄における被保険者の年齢が満15才未満の場合は、最親者のうち15才以上の方が署名してください。			
LW8 (告知日) 令和 R		● 年 8 月 10 日	
(告知者ご署名)		鈴木 一郎	

(次ページへつづく)

(前ページのつづき)

<告知の結果、お引受けできない場合>

ご加入をご継続いただくことができません。

・各疾病コードに属する疾病・症状は、下表または引受保険会社のホームページに記載されている「疾病・症状一覧表」をご確認ください。右記からアクセスいただけます。

ご確認いただけない場合は、代理店・扱者または引受保険会社までお問合わせください。

こちらから
アクセス
いただけます



疾病・症状一覧表

分類	疾病コード	疾病・症状名
循環器等の疾患	A0	心臓弁膜症*、心不全、狭心症、心筋梗塞、心室細動、急性冠症候群、不整脈(心房細動、心房粗動、発作性心頻拍症、心室性頻拍症、洞不全症候群、完全房室ブロックを含みます。)、心臓喘息、冠動脈硬化症、心筋症、心内膜炎(細菌性以外)、心房中隔欠損症 ※僧帽弁・大動脈弁・肺動脈弁・三尖弁の狭窄症または閉鎖不全症をいい、僧帽弁逸脱症候群を含みます。
	A1	脳腫瘍、脳卒中(脳出血、脳梗塞(脳軟化)を含みます。)、くも膜下出血、脳血栓、脳塞栓、もやもや病、一過性脳虚血発作(TIA)、脳動静脈奇形(脳動静脈瘤)、頸動脈狭窄症
	A2	高血圧症、動脈硬化、動脈瘤(動脈解離を含みます。)、静脈瘤
	A3	リウマチ性心疾患、リウマチ(関節・筋肉)
	A4	低血圧症
消化器系の疾患	B0	胃がん、腸がん、食道がん、大腸がん、急性胃炎、慢性胃炎、胃下垂、胃・十二指腸潰瘍、大腸炎、虫垂炎、イレウス(腸閉塞)、急性胃粘膜病変、憩室炎(憩室症)、それいヘルニア、腹壁ヘルニア、胃・腸・食道ポリープ(良性)、胃腸炎、胃腺腫、大腸腺腫、腸重積、腹膜炎、嘔吐下痢症、クローン病、潰瘍性大腸炎、過敏性腸症候群
	B1	肝臓がん、肝硬変、黄疸、肝機能障害、肝肥大、急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝 ※伝染性肝炎、ウイルス性肝炎はB1ではなくG2に該当します。ただし、ウイルス性肝炎のうち、A型・B型・C型肝炎は、B1とG2に重複して該当します。
	B2	胆道がん、胆石症、胆嚢炎、総胆管結石、胆嚢腺筋症、胆嚢ポリープ(良性)、胆管炎
	B3	膵臓がん、急性膵炎、慢性膵炎、膵石症、膵腫、膵のう胞
	B4	痔、痔ろう、脱肛、肛門周囲膿瘍
	B5	歯の支持組織の疾患、その他の歯の疾患
呼吸器系の疾患	C0	肺がん、肺炎、肺気腫、肺線維症、塵肺症、胸膜炎(肋膜炎)、肺嚢胞症、自然気胸、中葉症候群、肺化膿症(肺膿瘍を含みます。)、肺梗塞、慢性閉塞性肺疾患
	C1	喉頭がん、気管支喘息(小児喘息、アレルギー性喘息を含みます。)、喘息性気管支炎、気管支拡張症、慢性気管支炎、びまん性汎細気管支炎、急性気管支炎、咳嗽
	C2	アレルギー性鼻炎、慢性副鼻くう炎(蓄膿症を含みます。)、鼻中隔湾曲症
泌尿器・生殖器系の疾患	D0	腎盂腎炎(腎盂炎)、ネフローゼ(症候群)、腎炎(慢性腎臓炎、IgA腎症を含みます。)、腎周囲炎、膿腎、萎縮腎、尿毒症、腎不全、慢性膀胱炎、腎嚢胞、水腎症、尿道狭窄
	D1	前立腺がん、前立腺肥大、前立腺炎
	D2	子宮がん、乳がん、卵巣がん、乳房の疾患、子宮筋腫、子宮内膜炎、卵巣嚢腫、子宮頸部異形成、子宮内膜ポリープ(良性)、子宮頸管ポリープ(良性)、チョコレート嚢胞、子宮腺筋症、子宮内膜症
	D3	尿路結石(腎臓結石、尿管結石、膀胱結石)
内分泌系の疾患	E0	糖尿病・高血糖症
	E1	痛風
	E2	甲状腺機能亢進症(バセドウ病を含みます。)、甲状腺機能低下症、甲状腺炎、甲状腺腫・甲状腺腫瘍(良性)
血液・造血器系の疾患	F0	白血病、悪性リンパ腫、貧血、紫斑病
感染・寄生虫症	G0	結核(腎結核を除きます。)
	G1	腎結核
	G2	伝染性肝炎、ウイルス性肝炎* ※A型・B型・C型肝炎は、G2とB1に重複して該当します。
	G3	細菌性心内膜炎
	G4	淋病、梅毒、その他の性病
神経・感覚器系の疾患	H0	てんかん、パーキンソン病、多発性硬化症、髄膜炎、脳膜炎、自律神経失調症、インフルエンザ脳症
	H1	筋ジストロフィー症、神経炎、神経痛、顔面神経障害、手根管症候群、重症筋無力症、ギランバレー症候群
	H2	白内障、緑内障、黄斑変性症、その他の目の疾患
	H3	中耳炎(慢性中耳炎を含みます。)、乳様突起炎、メニエール病、突発性難聴、耳鳴症
筋・骨格系の疾患	J0	脊椎カリエス、脊椎の捻挫・骨折、腰痛、腰部捻挫、椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、むち打ち症、脊椎症、腰椎症、頸椎症、脊柱管狭窄症、後縦靱帯骨化症、椎間板障害、腰椎分離・すべり症、脊椎分離・すべり症、突発性腰痛症(ギックリ腰)
	J1	膠原病*、骨髄炎(急性化膿性骨髄炎を含みます。)、半月板損傷、ばね指(手指屈筋腱腱鞘炎)、特発性大腿骨頭壊死 ※ベーチェット病、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、結節性動脈周囲炎(結節性多発動脈炎)、混合性結合組織病、アレルギー性肉芽腫性血管炎(チャグ・ストラウス症候群)、側頭動脈炎をいいます。
	J2	骨関節炎、関節内障、変形性関節症
外傷後遺症	K0	頭部外傷後遺症、脳挫傷
皮膚の疾患	L0	アトピー性皮膚炎、蜂窩織炎、帯状疱疹、粉瘤(アテローム)
新生物	M0	悪性新生物(がん)(上皮内新生物を含みます。)
職業病	N0	職業病
精神障害	P0	認知症、アルコール・薬物使用による精神障害、統合失調症、妄想性障害、躁うつ病等の気分障害、抑うつ状態、神経症性障害(不安障害を含みます。)、ストレス関連障害(パニック障害、適応障害を含みます。)、摂食・睡眠障害、人格障害、詳細不明の精神障害
妊娠・出産にかかる疾患	Q1	妊娠及び産褥の中毒症、早産、流産、分娩及び産褥の敗血症、分娩の合併症、その他の妊娠・出産に関わる疾病
	Q2	上記Q1の疾病・症状のうち、告知日時点における妊娠によるもの
その他	R0	現在ご加入の契約の加入者証や、加入申込票「特定疾病対象外欄」に表示された疾病・症状

ご加入内容確認事項

ご加入手続きに際し、以下の事項を十分にご確認ください。

本確認事項は、万一の事故の際に安心して保険をご利用いただけるよう、ご提案いたしました保険商品がお客さまのご希望に合致した内容であること、ご加入いただくうえで特に重要な事項を正しくご記入いただいていることを確認させていただくためのものです。お手数ですが、以下の各質問項目について、再度ご確認いただきますようお願い申し上げます。なお、ご加入にあたりご不明な点や疑問点がございましたら、パンフレット記載の代理店・扱者または引受保険会社までお問合わせください。

1. 保険商品が以下の点でお客さまのご希望に合致した内容となっていることをパンフレット・重要事項のご説明でご確認ください。万一、ご希望に合致しない場合は、ご加入内容を再度ご確認ください。

「重要事項のご説明」に記載の、補償が重複する可能性のある特約等については、ご加入の要否をご確認ください。

保険金のお支払事由(主契約、セットしている特約を含みます。)
保険金額(ご契約金額)
保険期間(保険のご契約期間)
保険料・保険料払込方法

2. 加入申込票への記載・記入の漏れ・誤りがないかご確認ください。

以下の項目は、正しい保険料の算出や適切な保険金のお支払い等に必要な項目です。内容をよくご確認いただき、加入申込票に正しくご記入いただきますようお願い申し上げます。

記載・記入の漏れ・誤りがある場合には、訂正あるいは追記をお願いいたします。

皆さまがご確認ください。

- ・加入申込票の「生年月日」または「年令」欄、「性別」欄は正しくご記入いただいていますか？
「年令」欄は保険始期日時点での満年令をご記入ください。
*ご記入いただいた年令と生年月日から算出した年令が異なる場合には、生年月日から算出したものを年令として取扱うことがあります。
または、事前に打ち出している内容に誤りがないことをご確認いただきましたか？
- ・加入申込票の「他の保険契約等」欄は正しくご記入されていますか？
- ・支払基礎所得額(ご契約金額)は、平均月間所得額(ボーナスを含みます。)の60%(免責期間545日タイプ)または1/3(免責期間60日タイプ・免責期間180日タイプ)以内かつ100万円以内となるようなタイプまたは口数でお申込みされていますか？
- ・被保険者(補償の対象となる方)の健康状況を「健康状況告知書質問事項回答欄」に正しくご記入いただいていますか？
*ご加入いただく保険商品の加入申込票によっては、上記の欄がない場合があります。上記のうち欄がないものについてのご確認は不要となります。

3. 次のいずれかに該当する場合には「加入申込票」のご提出が必要ですのでご確認ください。

- ・この保険制度に新規加入される場合
- ・既にご加入の内容を変更してご継続される場合(被保険者の変更、補償内容の変更 など)
- ・既にご加入されているがご継続されない場合



よくあるご質問 Q&A

Q 何才でも加入はできますか？

- A 基本タイプは被保険者本人が64才(タイプA・C・Eは59才)まで、親介護一時金支払特約は特約被保険者(親)の年令が89才まで加入可能です。年令は保険始期日(2026年10月1日)時点の満年令となります。

Q 基本タイプと親介護一時金支払特約の被保険者の範囲はどのように異なりますか？

- A 基本タイプはご本人(加入申込票の被保険者欄に記載の方)のみ被保険者となれます。
親介護一時金支払特約はご本人が被保険者本人として加入された場合、そのご本人の親御さま(姻族を含む)を最大2名まで被保険者とすることができます。

Q 健康状況告知は必要ですか？

- A 新規で基本タイプにご加入の場合および補償を増額、拡大する場合は必要になります。
加えて、親介護オプションを追加される場合は、別途特約被保険者の告知が必要になります。
詳しくはお申込みのしかたや加入申込票記入例をご確認ください。

万一、ケガをされたり、病気になられた場合は

三井住友海上へのご連絡は

三井住友海上事故受付センター
☎ 0120-258-189 (無料)
事故は いち早く

事故受付



24時間 365日



加入申込票記入例

- ※お申込みにあたっては、このご記入例をご参考に、必要事項を正しく、もれなくご記入ください。
また健康状況告知書も必ずご記入ください。(質問事項は加入申込票最終ページ裏面にあります。)
- ※訂正もしくは記入ミスがあれば、二重線で消し、申込人にて訂正署名のうえ、訂正後の内容をご記入ください。
- ※継続されない場合、生協担当部署へ<解約>をお申し出ください。

加入申込票は1枚目のみ提出ください。

全国役職員共済会長期休業サポート 加入申込票 兼 健康状況告知書

STEP 1 申込人情報と手続区分についてご確認のうえご記入ください。 ☐ 内は必ずご記入ください。

保険期間
令和 8 年 10 月 1 日から 令和 9 年 10 月 1 日まで

住所 317 (カタカナ) トウキョウトナノクヒカシナノ〇-〇-〇 ヒカシナノハイツ〇
〒164-0000 東京都中野区東中野〇-〇-〇 東中野ハイツ〇

申込人名 307 (カタカナ) スズキイチロウ
フルネームでご署名ください。 鈴木 一郎

職場 018 (カタカナ) XXXXXX セイキウ 所属 019 記入しないでください

加入申込日 令和 8 年 8 月 10 日

社員番号 017 12345678

電話番号 011

生年月日 980 (大正) 昭和 (H) 平成 (R) 令和 (R) 性 男 女 別 男 女

手続区分 下記のいずれかにご記入ください。
☒ 新規に加入する → 全ての内容をご記入のうえ、ご署名・ご提出ください。
☐ 内容を変更する (前年度加入内容を追加・変更して継続する) → 変更後の内容をご記入のうえ、ご署名・ご提出ください。
☐ 継続加入しない → ご署名のうえ、ご提出ください。
☐ 内容を変更せず継続する場合は、ご提出不要です。

団体名 加入者番号 098 旧加入者番号 099 旧識別コード L17

STEP 2 申込内容と健康状況(告知)についてご確認のうえご記入ください。

GLTD・定額型 J04 (カタカナ) スズキイチロウ

氏名 L67 (漢字) 鈴木 一郎

生年月日 323 昭和 (H) 平成 (R) 令和 (R) 満 〇 才

年齢 303 〇

性別 302 男 女 団体の関係 L18 1

基本セット (必選択) 親介護オプション 介護一時金 以外用

セット名 A B C D E F K

介護一時金 専用 健康状況告知書質問事項回答欄

質問① 質問② 質問③ 質問④

回答欄 鈴木 一郎

STEP 3 他の保険契約等、保険金請求歴がある場合は、

11 ① 他(他)の保険会社等における契約を含み、団体契約、生命保険契約、共済契約を含みます。同様の危険を補償する他の保険契約等(所得補償保険、団体長期障害所得補償保険等)がありますか。 (あり) (なし)

② 他(他)の保険会社等への保険金請求を含みます。過去3年以内に病気またはケガで保険金(合計して5万円以上)を請求または受領したことがありますか。 (あり) (なし)

前年合計保険料(1回分) 50 合計保険料(1回分) XXXX 円

331 特記事項

合計保険料を記入します。(パンフレット5~6ページで算出した保険料を記入します。)
(例) 35才男性 タイプCに3口加入の場合
521 × 3 = 1,563 円



生活サポートサービス

ご相談無料

日常生活に役立つさまざまなサービスを電話にてご利用いただけます。長期休業サポート(団体長期障害所得補償保険)などにご加入のお客様とその同居のご家族の方専用サービスです。

*メンタルヘルス相談は加入者ご本人のみが利用いただけます。詳しくは、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。



>> サービス受付電話番号

サービス受付の電話番号(通話料無料)は、ご加入後にお届けする加入者証や案内状の案内などをご覧ください。

*平日とは、土・日・祝日・年末年始を除いた月～金をいいます。

*お使いの電話回線により、ご利用できない場合があります。また、ご利用は日本国内からに限ります。

*本サービスは、引受保険会社の提携サービス会社にてご提供します。海外に関するご相談など、ご相談内容によってはご対応できない場合があります。

*本サービスは予告なく変更・中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

健康・医療

【メンタルヘルス相談】平日 9:00～21:00 土曜日 10:00～18:00 【左記以外】年中無休24時間対応

健康・医療相談

日常の健康・医療に関するご相談や、薬剤全般に関する相談に看護師などの専門職がお応えします。

また、ご相談内容やご希望に応じて医師相談(一部予約制)がご利用いただけます。

メンタルヘルス相談

メンタルヘルスに関する相談に臨床心理士等の専門家が電話や対面でお応えします。

*対面によるご相談は予約制で、1回50分以内、1人につき年間5回までとなります。

診断サポートサービス

(各種人間ドック・PET検査機関紹介、健康チェックサービス)

提携機関をご紹介します。

また、ご自宅で気軽にできる健康チェックを割引料金でご紹介します。

三大疾病セカンドオピニオン情報提供

「三大疾病(がん、心疾患、脳血管疾患)」診断後の、セカンドオピニオンに関する情報提供やご相談にお応えします。

*セカンドオピニオンとは「主治医以外の医師の意見」をいいます。

医療機関総合情報提供

地域の医療機関情報や救急医療機関、各科の専門医などの情報を提供します。

女性医師情報提供、女性医師相談

女性医師情報をご提供(産科・婦人科に加え、内科、皮膚科、肛門科など幅広く対応)する女性専用のサービスです。

また、健康に関するご相談に女性看護師または女性医師(一部予約制)が対応します。

介護

年中無休24時間対応

専任の相談員がお応えします

介護に関する情報提供

老後の備えとして介護は最大の関心事です。介護保険の仕組みに関することや介護状態になった場合の介護方法などのご相談にお応えします。

介護に関する悩み相談

介護を担う人の悩みは多様です。日常の介護の悩みなど幅広いご相談にお応えします。

公的介護保険で利用できるサービス等に関する相談

公的介護保険で利用できるサービスや介護サービス提供事業者に関し、情報提供やご相談にお応えします。

認知症・行方不明時の対応相談

年中無休24時間対応

専任の相談員がお応えします

認知症に関する情報提供と悩み相談

社会の高齢化により増加する認知症に対する疑問にお応えします。専門医療機関の情報提供や精神的負担が大きい認知症の日常介護についてアドバイスします。

認知症の方の行方不明時の対応に関する相談

認知症の方などが行方不明になってしまった場合の対応や発見後のケア方法に関するご相談にお応えします。

また、地域包括支援センターなどを紹介します。

暮らしの相談

平日 14:00～17:00

暮らしのトラブル相談(法律相談)

個人の日常生活上のトラブルに関するご相談にお応えします。弁護士相談は予約制となります。

暮らしの税務相談

個人の日常生活上の税務相談にお応えします。税理士相談は予約制となります。

お客さまの行っている事業についてのご相談や、既に弁護士に対応を依頼している案件、訴訟となっている案件についてのご相談は対象となりません。また、引受保険会社の保険に関連するご相談は、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

情報提供・紹介サービス

平日 10:00～17:00

子育て相談(12才以下)

妊娠中から小学校卒業までの子育ての悩みや不安に、専任の相談員がお応えします。

暮らしの情報提供

冠婚葬祭についてのご質問、ボランティア情報

安心な暮らしをサポートする事業者の紹介

●福祉機器および介護用品のレンタル・販売
●緊急通報サービス ●ベビーシッター

健康・介護ステーション

インターネットにて健康・医療、介護に関する情報をご提供します。
URL: https://www.ms-ins.com/kenko_kaigo/

長期休業サポートの加入者の方が
万一、ケガをされたり、病気になられた場合は
遅滞なく右記にご連絡ください。

24時間365日事故受付サービス
「三井住友海上事故受付センター」

0120-258-189 (無料)
事故は いち早く

代理店・扱者 株式会社 アイアンドアイサービス
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-13
コープ共済プラザ
TEL:03-6836-1330 FAX:03-6836-1333

引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社[幹事会社]
広域法人部 営業第二課
共栄火災海上保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社